

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」松本校 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 18日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 60
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○個別にオーダーメイドの支援プログラムを複製。 ○日常生活に役立つ知識を、学習サポートという形で習得できる。学校の授業の見直し等、本人のレベルに応じたサポートができる。	○工作など、良いものは共有しつつ、新しいオリジナル教材を準備している。	○他のきらりの事業所で使用している教材・アイデアを共有して活用する。
2	○安心して通所できる場所になっている	○挨拶など、児童や保護者に積極的に声をかけている	○防災訓練や必要事項を伝えていく。 ○保護者や児童からの伝達・情報共有をきちんと行って信頼に繋げる。
3	○色々な視点からの支援が提供できる	○職員間で情報共有して、各指導員の強みを活かしている。	○内部研修やお助け隊を活用して、共有する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○就学や就労へのサポート。	○行政の基幹事業やアクセスジョブとの連携	○就労など、先を見据えた支援計画と情報収集 ○他の就労事業所との連携
2	○地域との連携	○個別の通所施設という業態なので、事業所として地域との連携が難しい。	○利用児童や保護者様へ個々に発信することで、地域のイベントや地元企業への就労見学を目指す。 ○地域の自立支援協議会・部会に参加する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」松本校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

64

回収数

60

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	16	6	1	・狭いです ・運動を取り入れられるようになりま したが、運動するのに十分なスペースが あるとは思えません。	おかげ様でご利用児童が増え、開所当初 に比べると手狭に感じると思います。 パーテーションの配置を工夫してスペ ースを最大限活かせるよう工夫します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	57	2	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	20	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	51	7	1	1	・子どもは靴下だが、職員は靴を履いて いて危ないと思います。	ご心配をおかけし申し訳ありません。支援 上、ケガの予防のため職員は靴をはいており ます。事故のないように、注意します。
適 切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	54	4	1	1	・プリントが正解がないものや最後まで できないものだったり、使用している教 材が良くないと思います。	ご指摘ありがとうございます。プリントの選 択には十分注意するよう気を付けます。考え る力を養う機会になればと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	59	1	0	0	・一つ一つこなして行くことが1番です が、プログラムの内容が少な気もして しまう。	お客様のペースに合わせて、少なくとも取り 組むことが大切な場合もございます。ご希望 があれば遠慮なくお申し付け下さい。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	59	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	57	2	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	58	1	1	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	52	6	1	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	23	7	14	16	・地域の学校へは通っていないため、特に希 望していません。 ・他市町村からお世話になっているので、地 元の事業所に対応いただいています。	個別活動の取組が中心になりますが、き らりのご利用者様の中での交流の機会は 月1回程度設けていますのでご利用いた だければ幸いです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	58	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	57	2	1	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	37	6	5	12	・現在、特に希望はしていません。	ご家族が参加できる研修や情報提供の機 会をつくっていきたいと考えます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていますか。	53	7	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	7	1	4		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	54	4	1	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	11	7	17			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42	11	2	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	53	4	1	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	37	8	0	15		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	55	1	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	46	8	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	48	5	1	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50	4	1	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	44	6	2	8		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	60	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	56	3	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	56	4	0	0		いつもご利用ありがとうございます。お子様が楽しく通い、笑顔で帰れるよう、職員一同努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」松本校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	法令を遵守したスペースを確保しています。	限られたスペースを有効活用します。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	個別支援を基本に、集団支援を適宜とりいれながら、児童が安全に活動できるように工夫しています。	こどもの状態に応じて、サポート体制を工夫します。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	ワンフロアでわかりやすく区切っています。	出入口に数段の階段があるため、昇降が困難な利用者様には職員がサポートするなどの工夫をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	消毒や換気を行い、児童が心地よく過ごせるように工夫しています。	換気は行うと冬は寒く、夏は暑いので限られた時間を遵守しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	スペースに限りはありますが、児童のこだわりや希望にあわせて環境を工夫しています。	限られたスペースの中で、個別でのスペースを確保することが課題です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎日朝礼・夕礼にて業務改善を図っています。	職員の積極的な参加を期待します。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け評価表を活用し、意向を把握し、業務改善につなげています。	十分な改善ができていのかどうか、保護者様の意見に耳を傾けます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	常日ごろから、職員の意見等を発信・検討できる環境づくりを心掛けています。	定期的に1対1の個別面談の実施を心掛けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	保護者と法人内の2者評価をおこなっており、第三者評価の実施は検討中です。	保護者と法人内の2者評価をおこなっており、第三者評価の実施は検討中です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	約3カ月の初任者研修を実施し、その後もすべての職員対象に、階層別・継続的に研修を行っております。	法人の法定研修を中心に内外の研修に積極的に参加する機会を設けることが課題です。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	個別支援計画に沿った支援プログラムを製作しています。	決められた方法で公表します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	計画期間ごとにアセスメントをとった上で個別支援計画を作成しています。	定期的なアセスメントの聞き取りが課題です。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	こどもの支援に直接関わる指導員の意見を基に、児童発達支援管理責任者が意見をまとめ、こどもの成長段階を考慮した上で作成しています。	全員が集合できる時間を確保することが課題です。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	全職員が共有し、計画に沿った支援を心掛けています。	利用児童が多いので、計画に沿った支援内容を確認する機会が必要です。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	統一したアセスメントシートを使用しています。	情報共有として、児童の様子を法人指定のアプリで（報告）共有しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	「本人支援」「家族支援」「移行支援」を計画にとりいれながら、必要な支援内容を設定しています。	具体的な支援内容の設定が課題です。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	定期的に子どもの事例を共有・議論する検討会を開催しています。	チームで必要事項を確認し、個別でプログラムを立案しています。	

接 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	可能な範囲で効果的に楽しく学べる指導を心がけています。	新人職員も含め、バランスよく固定化しないようなサポート体制を目指しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	福祉サービス計画のもとに、学校や他事業所との併用を加味した個別支援計画を作成しています。	子供の状況に対応するために、さまざまな視点からアプローチすることが目標です。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝・夕礼を毎日実施し、職員間の情報共有を心がけています。	チームの連携、声掛けが課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	朝・夕礼を毎日実施し、職員間の情報共有を大切にしています。	夕礼で確認し、必要に応じてスーパーバイズしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎回支援記録をとり、見直すことで、お子様の成長や生活環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	記録を3日以内に記録することを徹底し、停滞のないよう注意しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを検討しています。	職員全員で協力して計画の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2	福祉サービス計画のもとに、学校や他事業所との併用を加味した個別支援計画を策定しています。	ガイドラインに沿って支援を行うことが課題です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	個々の課題や目標に基づき、可能な限り自己選択・自己決定を促しています。	自己決定をする力を育てるための支援の提供が課題です。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者をはじめ、その子供の支援に携わっている指導員が協力して可能な限り会議に参加しています。	児発管や指導員が、可能な範囲で支援者会議に参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	関係機関との連携を大切にしています。	関係機関との連携を大切にしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	学校担任の先生や特別支援コーディネーターを窓口の情報共有を行っています。	支援者会議を通して学校での支援方法に関するご提案を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	適宜、直接情報共有を行うほか、保護者様や支援会議を通して総合理解に努めています。	必要に応じて連絡ノートを用いて情報提供しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	適宜、直接情報共有を行うほか、保護者様や支援会議を通して相互理解に努めています。	ライフステージごとの情報共有が課題です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	発達支援研究所など、内外部の専門機関と連携し助言をいただいています。	地域の児童発達支援センターとの連携が課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	限られた活動時間の中で実施が難しいことから、交流する機会はありません。	個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置付けた上で機会を設けます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	都合のつく範囲で、地域の自立支援協議会への参加を計画します。	参加する機会が少ないことが課題です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	支援終了後に、毎回、保護者様へのフィードバックの時間を設けています。	こどもの発達の状況や課題について、保護者様に御伝えしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	支援後のフィードバック時に、有効な対応方法がある場合には、指導員よりアドバイスをしています。	グループ相談会などの参加を通してきっかけづくりをしています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時、丁寧に説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。	繰り返し御伝えすることが必要と考えます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者さまにモニタリングをしながら意向を確認しています。	保護者様の希望も考慮しながら、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を大切にしています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	対面にて、計画を示しながら説明し、保護者様から同意を得ています。	保護者様へわかりやすく伝え理解してもらうことが課題です。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。	必要に応じてご希望の保護者様に対しては、家族面談等を実施しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	不定期にはなりますが、必要に応じて保護者会等を開催するなどして、保護者同士の交流・連携を支援しています。	保護者様とのフィードバックの時間に一緒に来校された兄弟姉妹と交流する機会があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	事業所に苦情受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問合せ窓口電話を設置しています。	頂いた苦情に対しては、社内フローに基づき、迅速かつ適切に対応することが課題です。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	教室内に活動内容やイベントの案内、おたより等を定期的に掲示しています。	集団活動の内容に関しては、ブログに定期的に発信をしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報に記載された書類は、第三者の目が届きにくいよう押鎖し、鍵付きのキャビネットに保管しています。	電話や打合せ時の固有名詞や氏名を発する必要があるときなど、個人情報の取扱いに気を付けています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	話し方やテンポ、視覚的配慮など、相手にとって理解しやすい伝え方を試みています。	全職員が配慮をこころがけていますが、事業所全体として継続的に徹底することが課題です。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	希望があれば、教室内の見学や保護者様の了解を得た上で指導の様子を公開することも検討します。	最近では感染症流行を配慮し、控えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	各種マニュアルを策定し、周知徹底しています。定期的に見直しをしています。	発生を想定した実践形式の訓練実施が目標です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	避難・救出・連絡等その他必要な訓練や確認を月1回実施しています。	職員間および保護者様との連携を想定しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約前に、服薬やてんかん発作等、こどもの状況を確認しています。	定期的なアセスメントの中で、状況の変化を確認しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	面談時にお子様のアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意しています。	現場では、食事提供がありません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成するとともに、現場での安全管理について、管理者を中心に十分な注意を払っています。	定期的な安全計画の見直しは課題です。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に、災害時の避難先、避難方法を保護者様に説明しています。	月1回の安全確保のための訓練も、事業所内にチラシを掲示して定期的に取り組んでいます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	些細な事でも、ヒヤリハット報告を作成するよう促し、職員間で共有した上で保管しています。	各自が危険予測の習慣を身に付けることで再発防止を心掛けています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	法人および委員会で定めた事業所単位での研修を実施しています。	虐待防止および身体拘束の禁止に関する研修を、年1回以上実施しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	アセスメントをとる際に、必要な場合には同意書を作成し、事前に委員会に報告することになっています。	放課後等デイサービス計画に記載をしてあります。記載方法が課題です。	